

科目名	真宗学演習 A					単位	2.0
担当教員	黒田 浩明						
授業形態	演習	開講期間	通年	配当年次	1	授業番号	5291

●授業のテーマ
『歎異抄』に学ぶ

●到達目標
『歎異抄』の原文を読み親しむ。また、『歎異抄』に自分自身の人生を尋ねて歩む姿勢を身につける。

●学習内容(授業概要)

『歎異抄』は、親鸞から直接に教えを受けたその著者が、親鸞滅後の真宗教団に深い責任を感じて記した書である。本書には、親鸞の他力信心の教えに異なった信心のあり方に対する悲嘆、すなわち「歎異の精神」が貫かれている。私たちは『歎異抄』を通して親鸞の教えに触れ、私たち自身の信心と向き合うことになる。そのために原文の音読によって、その言葉の響きに慣れ親しみ、暗唱したい。演習であるため、受講者には主体的にテキストを読み込んでいく姿勢が要求される。テキスト、及び『真宗聖典』を必ず持参のこと。

●学習内容(授業計画)

1. 『歎異抄』と真宗学の学びについて
2. 『歎異抄』の書誌的な位置づけ
3. 前序(歴史的背景)
4. 前序(信心における課題)
5. 第一条
6. 第二条(前半)
7. 第二条(後半)
8. 第三条(意味理解)
9. 第三条(内容の討議)
10. 第四条(意味理解)
11. 第四条(内容の討議)
12. 第五条(意味理解)
13. 第五条(内容の討議)
14. 第六条(意味理解)
15. 第六条(内容の討議)
16. 前期の復習
17. 第七条(意味理解)
18. 第七条(内容の討議)
19. 第八条(意味理解)
20. 第八条(内容の討議)
21. 第九条(意味理解)
22. 第九条(内容の討議)
23. 第十条
24. 第十一条
25. 第十二条
26. 第一三条
27. 第十四・十五条

28. 第十六・十七条
29. 第十八条
30. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

適宜、次回の授業について、予習すべき点を指示します。授業後、講義や討議の内容を踏まえてもう一度、原文を読み直してください。

●成績評価方法・基準

発表内容 5割 定期試験 5割

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『歎異抄』、出版社：東本願寺

≪No.2.≫書籍名：『真宗聖典』、出版社：東本願寺

●参考文献／その他

授業時に指定します。

●履修上の注意

演習であるため、自分の発表担当の時以外でも、授業への主体的な参加を望む。